



2025 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役社長 上田 雄太
(コード番号 3021 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 杉 研也
(電話番号 03-5730-1442)

第37回定時株主総会 質疑応答要旨

去る 2025 年 8 月 28 日に開催いたしました、当社第 37 回定時株主総会における、質疑応答および事前質問と回答の要旨は以下のとおりです。

■質疑応答でのご質問と回答の要旨

ご質問①

A I の活用に伴う当社のリスク管理体制について

回答

当社では A I 利用に関するガイドラインを策定し、昨年度は全従業員向けに A I 研修を実施しました。A I が誤った回答を行うことがあることは周知しており、従業員による確認を義務化しています。また、クローズド A I を利用し、機密情報が漏洩しないよう対策しています。

ご質問②

株価が低迷している要因と、その改善策について

回答

株価低迷の要因の一つとして、当社の情報発信力が十分でなかった点を認識しています。そこで本年を「I R 元年」と位置づけ、投資家の皆さまへの発信を強化してまいります。具体的な取り組みとして、2025 年 5 月期には 6 年ぶりに個人投資家説明会を開催しました。参加者の多くは当社銘柄を初めて知ったものの、投資への関心を示していただきました。今後も説明会を定期的 to 実施し、当社の事業・サービス・業績に関する情報発信を継続的に強化してまいります。

ご質問③

I Tサブスクリプション事業における長期契約の定義と、長期貸出パソコンの売却について

回答

I Tサブスクリプション事業における長期レンタルとは、13 ヶ月以上の契約を指し、12 ヶ月以下は短期レンタルと定義しています。与信をクリアした優良顧客にサブスクとして貸し出しており、契約期間満了で返却されたパソコンの状態は良好で高価値品としてデータ消去・クリーンアップ後に中古市場で販売しています。

ご質問④

今回の決算は過去最高益となった一方で、利益の伸びが鈍化しているようにも見えるが、その背景にある要因は何か。

回答

今回の決算は、売上・利益ともに過去最高を更新し、営業利益率や経常利益率も改善しました。一方で、I Tサブスクリプション事業のセグメント利益率は昨対比で1 ポイント程度低下しています。その背景として、第一にI Tサブスクリプション事業における積極的な人的投資の影響が大きく、第二に減価償却費の増加が挙げられます。これらはいずれも将来の成長を見据えた戦略的投資であり、今後はサブスクリプションモデルに収益性の高いI Tサービスを組み合わせて提供することで、利益の持続的な拡大を目指してまいります。

ご質問⑤

中期経営計画を開示しない理由について

回答

I T業界の技術革新や海外情勢の変化は極めて速く、2～3年先の数値目標を高い信頼性をもって設定することは現実的ではないと考えています。そのため、株主の皆さまには、責任をもって示せる1年先の業績予想へのコミットメントを重視しております。

また、競合には非上場企業も多く、数値目標を開示することが競争上の不利益につながる可能性もあるため、現時点では中期経営計画の開示を控えています。環境変化に機動的に対応し、結果として株主の皆さまの利益につながる経営を行うことが、当社の基本方針です。

ご質問⑥

20 億円のシンジケートローン（コミットメント期間付タームローン契約）選択の理由について

回答

成長投資への安定的な資金調達手段として、従来の借入方法より柔軟性の高いシンジケートローンを選択しました。急な資金需要に対応できるメリットがあることや、複数の金融機関から融資を受けることで、一行への依存リスクを回避し、資金調達基盤の安定化が可能となります。

■事前のご質問と回答の要旨

事前のご質問①

財務方針および自己資本比率・有利子負債の増加について

回答

当社の財務方針は、成長投資と財務健全性のバランスを重視しています。自己資本比率については安定的な経営基盤を維持できる水準を確保してまいります。有利子負債については、資産回転率やROAを注視し、過度な依存を回避しつつ計画的にサブスク資産投資へ活用していく方針です。事業の拡大や成長機会を逃さぬよう機動的に対応しながら、中長期的に健全な財務体質の維持を目指しております。

事前のご質問②

GIGAスクールが当社の業績に与える影響について

回答

GIGAスクールについては、授業で使用中のPCやタブレットの入替が始まっており、各方面から処分に関する問い合わせをいただいています。ただし導入機器は、一般的なパソコンに比べ再販価値が低いため、当社では収益に重点を置き、採算の取れるデータ消去などの案件にのみ対応しています。現時点で業績予想には織り込んでおりません。

事前のご質問③

Windows 10 サポート終了の影響について

回答

Windows 10 サポート終了に伴うパソコン入替需要は一定の追い風になりますが、当社の強みはこのような特需に左右されない事業構造にあります。IT人材不足が拡大する中、

企業では I T 管理業務の負荷を軽減する I T サブスクリプションや、業務そのもののアウトソーシングニーズが高まっています。当社ではこうしたサービスによるストック収益の拡大を通じて、安定成長を見込んでいます。

以上